

令和2年2月 全国百貨店売上高概況

令和2年3月24日

I. 概況

1. 売上高総額	3,661億円余
2. 前年同月比	-12.2% (店舗数調整後/5か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	75社 206店 (令和2年1月対比-1店)
4. 総店舗面積	5,227,360㎡ (前年同月比:-4.0%)
5. 総従業員数	62,745人 (前年同月比:-6.3%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	7-9月 6.8%、8-10月 2.0%、9-11月 -1.1%、 10-12月 -8.8%、11-1月 -4.7%、12-2月 -6.3%

[参考] 平成31年2月の売上高増減率は0.4% (店舗数調整後)

【特徴】

2月の売上高は12.2%減と5か月連続のマイナスとなった。新型コロナウイルスの影響拡大から、国内外顧客の集客・売上ともに厳しい状況が続き、入店客数も約1割減少した。特に国内においては外出自粛による消費マインドの低下が見られ、インバウンドでは、1月27日以降の中国政府による団体海外旅行禁止、更には春節の月ズレ(前年2/5→本年1/25)も大きく響いた。また、暖冬により冬物商材も動きが鈍かった。

顧客別では、国内市場は前月より3.3ポイントダウンの7.8%減(5か月連続/シェア97.0%)であったが、インバウンドは、訪日客減により購買客数(13.4万人/68.3%減/2か月ぶり)が大幅に減少した結果、免税総売上高は約110億円(65.4%減/2か月ぶり/シェア3.0%)となり、極めて厳しい結果となった。

地区別では、インバウンド比率の高い大都市(10都市/14.6%減)が、前月より12.1ポイントダウンしたが、仙台地区(0.2%増/5か月ぶり)のみ前年を確保した。一方、地方(10都市以外の地区/6.0%減)は全地区でマイナスしたものの、1.4ポイントダウンにとどまった。

商品別では、主要5品目全てで対前年減となる中、食料品(3.5%減)はバレンタイン商戦等の催事企画が好評で減少幅を抑えることができた。一方、衣料品(15.9%減)や身のまわり品(16.7%減)などのファッション商材は、天候与件もあって冬物重衣料を中心に苦戦し、また、時計や宝飾など一部高額品(美術・宝飾・貴金属:6.6%減)が比較的堅調だった雑貨(18.9%減)も、化粧品(26.4%減)が大きくマイナスしたことから、トータルでは2割近く減少した。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「2月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇気温は全国的に高く、東日本でかなり高く、北・西日本で高かった。また、冬型の気圧配置となる日が少なく、寒気の影響を受けにくかったため、月降雪量は北・東日本日本海側でかなり少なかった。
- (2) 営業日数増減 28.7日(前年同月比 +1.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 11日(" +2日)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数115店舗)
①増加した:16店、②変化なし:21店、③減少した:78店
- (5) 2月歳時記(バレンタインデー、節分)の売上(同上/有効回答数84店舗)
①増加した:11店、②変化なし:26店、③減少した:47店

全国百貨店 売上高速報 2020年2月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全国	366,127,468	100.0	-12.2 (-13.2)
10都市	256,731,474	70.1	-14.6 (-14.6)
札幌	9,331,807	2.5	-25.8
仙台	5,260,126	1.4	0.2
東京	101,551,136	27.7	-12.8 (-13.1)
横浜	22,725,633	6.2	-7.2
名古屋	24,217,144	6.6	-11.4
京都	14,168,032	3.9	-18.4
大阪	49,872,861	13.6	-21.0
神戸	9,099,073	2.5	-14.4 (-11.4)
広島	7,398,208	2.0	-11.3
福岡	13,107,454	3.6	-13.8
10都市以外の地区	109,395,994	29.9	-6.0 (-9.8)
北海道	939,025	0.3	-8.3
東北	5,372,893	1.5	-2.3 (-15.0)
関東	47,572,415	13.0	-3.9 (-8.0)
中部	9,247,888	2.5	-4.6 (-6.1)
近畿	15,624,166	4.3	-5.5 (-4.0)
中国	8,292,292	2.3	-7.3
四国	6,160,177	1.7	-12.9
九州	16,187,138	4.4	-10.9 (-19.3)

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	366,127,468	100.0	-12.2 (-13.2)
紳士服・洋品	20,312,749	5.5	-9.8 (-11.1)
婦人服・洋品	60,541,952	16.5	-17.8 (-19.2)
子供服・洋品	7,726,233	2.1	-15.5 (-17.1)
その他衣料品	6,526,319	1.8	-15.5 (-17.1)
衣 料 品	95,107,253	26.0	-15.9 (-17.2)
身のまわり品	45,097,551	12.3	-16.7 (-18.2)
化粧品	32,914,782	9.0	-26.4 (-26.8)
美術・宝飾・貴金属	24,466,924	6.7	-6.6 (-6.8)
その他雑貨	12,519,763	3.4	-18.0 (-20.9)
雑 貨	69,901,469	19.1	-18.9 (-19.7)
家具	3,904,265	1.1	-21.9 (-23.2)
家電	1,181,620	0.3	-16.9 (-17.0)
その他家庭用品	9,210,051	2.5	-12.1 (-14.8)
家 庭 用 品	14,295,936	3.9	-15.4 (-17.4)
生鮮食品	18,159,800	5.0	-2.9 (-5.1)
菓子	45,705,964	12.5	-5.0 (-5.4)
惣菜	22,790,251	6.2	-3.7 (-4.3)
その他食料品	31,054,201	8.5	-1.6 (-3.8)
食 料 品	117,710,216	32.2	-3.5 (-4.7)
食堂 喫茶	9,079,514	2.5	-13.5 (-15.7)
サービス	4,527,515	1.2	0.7 (-0.9)
その他	10,408,014	2.8	9.1 (20.1)
商 品 券	5,718,094	1.6	-15.7 (-15.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|--------|--------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -14.6% | (店舗数調整後/5か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -6.0% | (店舗数調整後/5か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-14.6	-10.6	5か月連続マイナス
札幌	-25.8	-0.8	2か月ぶりマイナス
仙台	0.2	0.0	5か月ぶりプラス
東京	-12.8	-3.6	5か月連続マイナス
横浜	-7.2	-0.4	5か月連続マイナス
名古屋	-11.4	-0.8	5か月連続マイナス
京都	-18.4	-0.8	5か月連続マイナス
大阪	-21.0	-3.2	5か月連続マイナス
神戸	-14.4	-0.3	5か月連続マイナス
広島	-11.3	-0.2	2か月ぶりマイナス
福岡	-13.8	-0.5	5か月連続マイナス
10都市以外の地区	-6.0	-1.7	5か月連続マイナス
北海道	-8.3	-0.0	2か月ぶりマイナス*
東北	-2.3	-0.0	2か月ぶりマイナス*
関東	-3.9	-0.5	5か月連続マイナス
中部	-4.6	-0.1	5か月連続マイナス
近畿	-5.5	-0.2	5か月連続マイナス
中国	-7.3	-0.2	5か月連続マイナス*
四国	-12.9	-0.2	5か月連続マイナス
九州	-10.9	-0.5	5か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、5か月連続で全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も全品目がマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-12.2	—	5か月連続マイナス
紳士服・洋品	-9.8	-0.5	5か月連続マイナス
婦人服・洋品	-17.8	-3.2	5か月連続マイナス
子供服・洋品	-15.5	-0.3	5か月連続マイナス
その他衣料品	-15.5	-0.3	5か月連続マイナス
衣料品	-15.9	-4.3	5か月連続マイナス
身のまわり品	-16.7	-2.2	5か月連続マイナス
化粧品	-26.4	-2.8	2か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-6.6	-0.4	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-18.0	-0.7	5か月連続マイナス*
雑貨	-18.9	-3.9	5か月連続マイナス
家具	-21.9	-0.3	5か月連続マイナス
家電	-16.9	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-12.1	-0.3	5か月連続マイナス
家庭用品	-15.4	-0.6	5か月連続マイナス
生鮮食品	-2.9	-0.1	16か月連続マイナス*
菓子	-5.0	-0.6	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-3.7	-0.2	5か月連続マイナス*
その他食料品	-1.6	-0.1	5か月連続マイナス*
食料品	-3.5	-1.0	5か月連続マイナス
食堂喫茶	-13.5	-0.3	5か月連続マイナス
サービス	0.7	0.0	2か月連続プラス
その他	9.1	0.2	4か月連続プラス
商品券	-15.7	-0.3	108か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>